

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 岡山市立旭竜小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒703-8254
岡山県岡山市中区八幡8番地1

E-mail kyokuryus@city-okayama.ed.jp

Website http://www.city-okayama.ed.jp/~kyokuryus/

児童生徒数 男子 90 名 女子 71 名 合計 161 名
児童・生徒の年齢 7 歳 ～ 12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 福祉・まちづくり ）

3. 活動内容

(1) 内 容

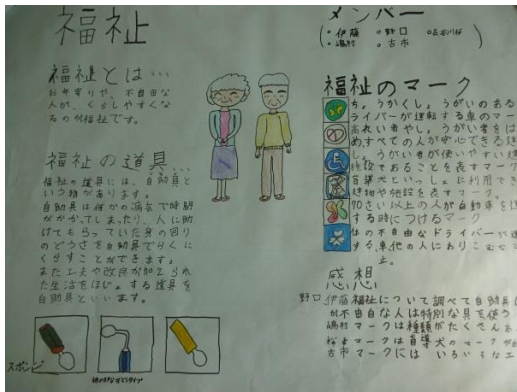
1) 郷土愛・共生プロジェクト1 ～地域の人とふれ合おう～ (4・5年生の取組)

① 活動概要

【4 年】

アイマスク体験や車いす体験・高齢者体験等の活動に積極的に取り組んだ。また、視覚に障害のある方をゲストティーチャーとして招聘し、生活の様子や盲導犬の役割の大きさについてお話しいただいた。それぞれの活動後には、感じたこと・分かったことを新聞にまとめた。

福祉にかかわる学習を行うなかで、からだが不自由な人や高齢者の方の思いに気づき、自分たちにできることは何かについて児童一人一人が考えることができた。



【5 年】

旭竜学区の民生委員協議会・社会福祉協議会が行っている独居老人宅への昼食の配食活動に参加させていただいた。配る方面ごとにグループをつくり、地域のボランティアの方と一緒に高齢者の方のお宅を訪ね、お弁当を直接手渡した。地域の方と直に触れあうことで、高齢者の皆さんが食事が届くのを本当に楽しみにしてくれていることを実感することができた。

配食活動の後、地域のボランティアや岡山市社会福祉協議会職員の方から様々なお話を聞かせていただき、旭竜学区が岡山市において急激に高齢化が進行していることに気づくことができた。また、地域で支え合うことの必要性、共助の精神の大切さについて理解を深めることもできた。



② 成果と課題

4年生・5年生と継続して、福祉をテーマに活動を行ったことで、様々な立場から物事をとらえ、自分にできることについて一人一人が十分に考えることができた。「福祉の町 旭竜」の担い手の一人として未来につながる力を培うことができたのではないかと考える。

2) 郷土愛・共生プロジェクト2

～歴史を探ろう～ (6年生の取組)

① 活動概要

【6年】

旭竜学区在住の郷土史家の先生をお招きして、1回目は旭竜小学区に残る史跡(備前八幡宮、備前朝間宮、中島城址、百間川二の荒手など)を巡り、2回目は、範囲を広げて高島中学校区の史跡(備前国庁跡、賞田廃寺跡、唐人塚古墳、備前国総社宮など)を巡った。児童は、現地で実際に史跡見ながら説明を聞くことで、昔の人々の暮らしに思いを馳せ、学びを深めることができた。

地域の史跡を見学した後、史跡ごとに発表のグループ分けを行い、見たこと、調べたことなどを模造紙にまとめ、土曜参観日で発表会を行った。数多くの保護者や地域の方々に学習成果を発表することができた。

② 成果と課題

郷土史家の先生のナビゲートのもと、地域の歴史的遺産を目にしたり、触れたりすることで、普段何気なく見ていた神社や史跡についての価値に気づき、自分の住んでいる地域に対する親しみと愛着を持つことができたと考える。

学習したことをしっかり発信していくことを目標に活動を行ってきたが、今年度は校内での発表にとどまってしまった。今後は、公民館等の社会教育施設とも連携を図り、学習し分かったことをより広範囲に発信していくことを検討していきたい。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）